(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　イリノテカン+アービタックス　療法　1サイクル 2 週

疾患名　切除不能の進行再発大腸がん

注射	Rp	商品名	用量(/回)	投与ルート	投与時間	1							2							3							4						
内服			用量(/日)	用法		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線		照射部位	照射量																														
注射	1	グラニセトロン	3 mg	点滴	30分	●														●													
		デキサート	6.6 mg																														
注射	2	デキサート	6.6 mg	点滴	30分								●														●						
		生理食塩液	100 ml																														
注射	3	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●							●							●							●						
注射	4	アービタックス≪初回≫	400 mg/㎡	点滴	2時間	●							●							●							●						
		生理食塩液	500 ml	全量500mlに調製																													
		アービタックス≪2回目以降≫	250 mg/㎡	点滴	1時間																												
		生理食塩液	250 ml	全量250mlに調製																													
注射	5	生理食塩液	100 ml	点滴	1時間	●							●							●							●						
					2回目以降																												
					30分可																												
注射	6	トポテシン	150 mg/㎡	点滴	2時間	●														●													
		生理食塩液	500 ml																														
注射	7	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●														●													
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1	半夏瀉心湯	7.5 g	1日3回食間/食前		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内服	2	ウルソ	300 mg	1日3回食後		●	●	●												●	●	●											
内服	3	プリンペラン	15 mg	1日3回食前		●	●	●												●	●	●											
内服	4	重曹	3 g	1日3回食間		●	●	●												●	●	●											
内服	5	酸化マグネシウム/マグラックス	1.2-1.8 g	1日3回食後		●	●	●												●	●	●											
内服	6	レスタミン	50 mg	アービタックス投与30-60分前		●							●							●							●						
内服	7	デカドロン	8 mg	1日1(-2)回朝(昼)食後			●	●													●	●											

特記事項

アービタックス
・至適濃度：0.83mg/ml～4mg/ml
・治療開始前、治療中、終了後に電解質(Mg、K、Ca)のモニタリングを行う。
・皮膚障害対策は「適正使用ガイド」を参照
・infusion reactionを発現することがあるため，アービタックス投与中及び投与終了後は少なくとも1時間は観察期間（バイタルサインをモニターするなど）を設けること。
※・UGT1A1遺伝子多型にてホモ接合体、複合ヘテロ接合体をもつ場合は、1段階以上の減量を行う（最大50%まで減量を考慮）。
※※詳細は添付文書参照

減量規定

薬品名	アービタックス※※	トポテシン※			
標準投与量	250 mg/㎡	150 mg/㎡			
1段階減量	200 mg/㎡	120 mg/㎡			
2段階減量	150 mg/㎡	100 mg/㎡			
3段階減量	中止				